

## 芸文生による“高岡ストリート構想”発表会

学部専門教育科目「まちづくり」では、フィールドワークの進め方や課題の捉え方、企画の立案方法を学習した上で、毎年高岡のまちづくりに対する具体的なアクションを授業課題としています。今年度は、高岡の観光拠点等を結ぶ経路に着目し、移動のプロセスを魅力化する“高岡ストリート構想”の企画案を作成し、高橋正樹高岡市長にプレゼンテーションすることになりました。



日時：平成 23 年 8 月 4 日 (木) 16:30～17:30  
場所：ウイングウイング高岡 1 階交流スペース  
ゲスト：高橋正樹高岡市長  
          秦正徳芸術文化学部長  
【授業履修外学生はじめ一般参加もできます】

発表企画案：

- 御旅屋通り 活性化  
古城公園の動物をモチーフにシャッターの前にボール紙でつくった動物を吊す。
- 八丁道ミルクウェイプロジェクト  
八丁道にLEDライトで光の花を作り、その花を八丁道に設置し光の道(ミルクウェイ)を作る。
- 万葉線で観光CMをつくろう  
万葉線のプロモCMを市民主体でつくる
- 氷見線の車窓から巡る高岡  
「氷見線一日乗り放題券」を発行し、購入者に特典撮影を提供する。
- 路地裏プロジェクト  
駅前から金屋町までのルートに道案内となる看板とモニュメントを設置する。

### 8月4日開催・一般参加可

▲ 7月28日、高岡市の担当者3名を交えて行われた学内プレゼンテーション。12チームから5チームに選抜した。

#### 外部講師による授業報告



▲ 事業化を想定した圧倒的クオリティの卒業制作

#### 研究科「課題研究Ⅰ」、学部「絵画論」

日時： 7月22日(金) 3限  
講師： 児島宏嘉 さん

なぜ、フィンランドでデザインが盛んであるのか？サウナが白夜に象徴される自然環境に対応した農業とその労働環境等から定着したこと、第二次世界大戦の敗北に伴う賠償金を支払うために付加価値の高い工業製品が必要になり、デザインレベルが向上したことなど、その根本的な要因等が解説されました。

#### 外部講師による授業報告



▲ グラフに独自性を持たせて高評価を得た作品

#### 研究科「デザイン学特論」

日時： 7月27日(水) 1限  
講師： 島津勝弘 さん

研究科生4名が、それぞれのテーマをもとにリサーチした内容を踏まえて、分析内容から想定されるデザインについて発表を行いました。島津さんからは、特徴が際立つグラフ等の作成方法やプレゼンパネルの表現方法について具体的な指摘がありました。プレゼンパネルはオープンキャンパスで展示されます。

#### 外部講師による授業報告



▲ デザインプロセスや成果物が実物で示された

#### 研究科「デザイン特別演習A」

学部「インターフェイスデザイン」  
日時： 7月28日(木) 1限  
講師： 中山真由美 さん

研究科生の授業成果物「高岡の新たな文様」について、「優れたデザインで今後の展開が楽しみ」との評価を受けました。講演では、伝統的な書から現代的なロゴを作成する事例や、富山県のお土産を集めてブランド化した「おすそわけ」について解説がありました。